

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

FUTURE DESIGN

ELEVATOR NEWS

安全で快適なエレベーターの未来をデザインする

2008

vol. 16

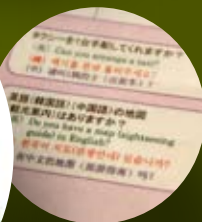
特集●都市と交通の未来形

マルチリンガル都市・トウキョウ

東京の言語環境を観光する

東芝エレベータ株式会社

TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION



東京スカイツリーTM向けエレベーターの受注について

東芝エレベータは、2011 年度に開業予定の「東京スカイツリー」(事業主体: 東武鉄道株式会社・所在地: 東京都墨田区、東武タワー スカイツリー株式会社・所在地: 東京都墨田区) 向けに大容量エレベーターとしては国内最高速となる分速 600m の 40 人乗り・超高速エレベーター 4 台と昇降距離が日本最長 (464.4m) の業務用エレベーター 2 台、合計 6 台の高速エレベーターを受注しました。大容量・国内最高速エレベーターは、東京スカイツリーの主要動線として地上から第 1 展望台 (地上高 350m) を直通 (所要時間: 50 秒弱) で結ぶ計画です。



東武鉄道(株)・東武タワー スカイツリー(株): 提供

(アンケートにご協力ください)

今号の東芝エレベータ広報誌「FUTURE DESIGN」Vol.16 に対するご感想をお聞かせください。抽選で 10 名さまに「特選品」をお送りします。

今号の特選品は、電子辞書「XD-E15」です。ポケットサイズに英和辞典 (見出し語: 約 41,000 語) と和英辞典 (見出し語: 約 23,000 語) を収録しました。

- 応募方法
同封のがきまたは FAX 用紙、E-mail でご意見をお送りください。

- 締め切り
2009 年 1 月 31 日到着分まで有効。



東芝エレベータ株式会社

FUTURE DESIGN

ELEVATOR NEWS
vol.16 2008

2008 年 10 月 31 日発行 発行 東芝エレベータ株式会社 広報室
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-5-27 電話 (03) 5423-3332
URL <http://www.toshiba-elevator.co.jp>
E-mail elevator@po.toshiba.co.jp

制作 有限会社イー・クラフト デザイン 手塚みゆき 印刷 株式会社ピーオーメディアサービス



古紙 20% + 植林木・ECF パルプ 80% の再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています

FUTURE DESIGN

ELEVATOR NEWS

安全で快適なエレベーターの未来をデザインする

vol.16 2008



【表紙解説】

東京を外国人が歩く

観光業は、旅行業、宿泊業、輸送業、飲食業、土産品業など、裾野の広い産業です。しかし、2007 年で見ると、日本から諸外国への旅行者が 1730 万人弱であるのに対し、諸外国から日本を訪れた旅行者は 835 万人弱と、半分程度にとどまっています。日本を訪れた外国の方々により印象を持って帰っていただくにはどうしたらいいのか。

観光の視点から交通を考えます。

CONTENTS

- 03-09 特集●都市と交通の未来形
東京の言語環境を観光する
マルチリンガル都市・トウキョウ
- 10-13 連載●リニューアール探検隊が行く！
ホテル大松荘
- 14-15 連載●安全・安心を科学する
インフルエンザ、その予防と対策
インフルエンザと暮らし
- 16 交通の快楽
地下を目指す東京の交通機関

特集 ● 都市と交通の未来形

東京の言語環境を観光する

マルチリンガル都市・トウキョウ

こと観光に関しては、なんと40年近くにも渡って圧倒的な輸出超過が続いている日本。

日本政府も、2008年10月、日本の観光立国を推進するために「観光庁」を設置するなど、広く外国人観光客の誘致に努めている。

そして、中国や韓国、台湾などからの旅行者急増もあり、

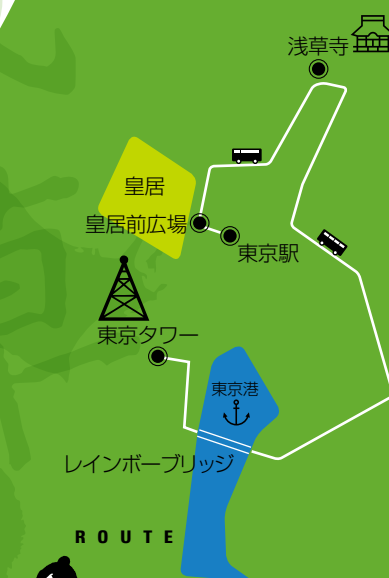
2008年には来訪者数1千万人の大台乗せが期待されている。

ただしそこで問題になるのは、

果たして、日本が海外からの旅行者に優しい国かどうかという点。

そんな疑問を検証するために、

留学生とともに、首都・東京の主要観光スポットをめぐってみた。





JR東京駅 切符売り場▶

券売機はタッチパネル式になっており、簡単に英語表記に切り替えることができる。



Tokyo Station

東京駅

結節点に見る交通案内
土地の知識を伝えること

東京駅から
皇居へ

start!

◀東京メトロ東京駅 改札前インフォメーション

改札を出て正面に駅周辺を含む案内図が設置されている。日本語と英語のほか、「出口」など重要な表記にはハングルが併記されている。また、改札では英語による乗り換え案内が無料で配布されている。駅番号と路線カラーにより、英語がわからない人でも読み解けるよう工夫が凝らされている。

皇居は誰もが知っている!?

再開発により、ここ数年で建物の高層化が一気に進み、その姿を変えつつある東京・丸の内。日本を代表するビジネス街だ。ここからわずか数分、まったく対極にあるような穏やかで平面的な空間が広がる——皇居である。

フィールドワークとして、今回、実際に東京の代表的観光名所を訪れた米国人留学生ネイザン・エルカートは、そんな皇居までの経路について、このように思ったという。

「事前に調べれば、JRでも地下鉄でも駅を出てまっすぐ行けばいいということはわかります。ただ……」

JRの場合は、現在東京駅丸の内駅舎が創建当初の姿への大復元工事中ということもあり、案内情報は仮設で記載された情報に「皇居」の表示はない。周辺を見回しても、丸ビル、新丸ビルなどの高層ビルが皇居を目隠しする。

「とりあえず正面のロータリーを渡ってみましょう。ああ、この地図は『Imperial Palace』が出ました！改札を出てから3〜4分。ちよっと不安になってきた頃だから助かりました」。あとは一直線で、まばらな松林の先



IMPERIAL PALACE



皇居

Imperial Palace



▲皇居前広場

皇居前広場から二重橋を望む景色は、テレビの中継などで目にする機会も多い。皇居前広場にはインフォメーション類はほとんどなく、手前の松林に「芝生立ち入り禁止」などの禁止事項を示す看板が少しあった程度だ。「団体客の皆さんにはガイドの方が説明しています。外国人旅行者も多く訪れますが、ガイドブックなどをよく読んで皆さん勉強しています」（警備の警察官）

には白壁の櫓が見える。

「天皇陛下のお住まいだ、以外にはとくに説明不要ということかな。皇居前広場にはとりたててインフォメーションの類は見当たりませんね」

日本語のインフォメーションも見あたらないのだから、マルチリンガル化する元の情報さえ存在しないわけだ。

「日本人も外国人もガイドブック頼りですかね。でも、やはりもう少し説明があるとうれしいかな」

留学生が巡った日本

街角のマルチリンガル化はまず都市圏から始まり、やがて次第に各地へと波及していく。一方、一足飛びに地方都市や街道沿いの町々へと、歩みを伸ばした外国人留学生が見た、その現実とは？

日本各地へ旅をしています。

ただし、道に迷ったことはあっても、本当にお手上げでどつしよともなくなつたという経験はありません。もちろんひとつには、ボクが日本語を話せるということが大きいのはわかっています。

来日して2年。東京で建築学専攻の大学院に通っていますが、休みを利用して神戸や大阪、あるいは九州まで足を伸ばしました。でも、普通の旅行者のように鉄道や飛行機を使って移動し、有名な観光地を訪れているわけではありません。

せん。

建築を勉強しているとついですが、ボクには個人的に興味を惹かれ、好きだと感じるタイプの建物というのがあるのです。たとえば、丹下健三先生が設計したようなもの。昭和モダニズム建築というのですが、各地にあるそれらの建築を実際に見るために、バイクであちこち回るのが、ボクの旅行のスタイルです。

バイクでの移動ですから、ツーリングマップは手放せません。高速道路はあまり使わず、一般

道で移動することが多いですね。

道路情報案内に書いてある地名や行く先情報にはアルファベットが並記されているので、こまめにバイクを止めてマップと照らし合わせながらの旅になります。

また、ツーリングに欠かせないのはコンビニです。夜道の先にコンビニの明かりが見えてくると、ポツと気持ちが明るくなります。目的地への道やユースホステルなどの情報まで、なんでも親切に教えてもらえるので、本当に助かっています。ただし、一般的な観光

情報はコンビニでも教えてもらっても、自分の街や地方の特長、たとえば、ボクがたとえ何百キロを走ってもぜひ訪ねたいと思うような建物のことなどは、まるで知らない人が多いのは残念です。

ボクの実感では、日本ではどこでも、旅をするのにどうしても必要だと思われる情報は備わっています。それに日本人のホスピタリティーが加わるので、それを楽しむことができれば、日本の旅は誰にとっても興味深いものになるんじゃないでしょうか。（談）



日本各地への昭和モダニズム建築探訪の旅。ネイザンにとって、頼れる相棒は真っ赤なスズキ GSX-R (750cc) だ。

ネイザン・エルカート氏 Nathan ELCHERT

1982年、アメリカ合衆国ネバダ州生まれ。ハイスクールまでカリフォルニアで過ごし、大学は東海岸アイビーリーグのイェール大学へ。建築学を専攻し、卒業と同時に日本語クラスの奨学金を得て来日。現在は東京工業大学大学院建築学専攻で、戦後日本の建築を研究する。

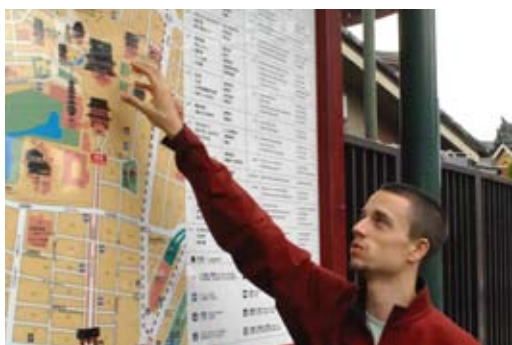


徒歩

浅草寺



SENSO-JI



◀観光案内所

各所に地図を併記した看板が立っている「お寺の解説とかご利益とか、もう少し情報があってもいいかもしれませんね。その分、パンフレットやひとによる案内が充実しているのでしょう」(ネイザン)



浅草寺

Senso-ji



◀ひとによる案内が充実

雷門のすぐそばに、観光案内所である浅草文化観光センターや交番があり、そこでは各国語のパンフレットを無料配布しているほか、英語が話せる係員も常駐している。また、交番では基本的な案内事項をチャートにして指差しで案内できるようにしていたりするなど、「日本語や英語がわからない人」を案内するためのマニュアルが徹底している。



▲ホテルにて

雷門をくぐってすぐ横にある「ホテル雷門」。外国人のリピーターも多い。「外国人旅行者の皆さんは本当に旅慣れていらっしゃる」

ハード情報の先にあるもの

雷門の巨大な飾り提灯をくぐり、仲見世をひやかしながら歩くと浅草寺本堂に出る。浅草は東京を訪れる外国人旅行者の多くが足を向ける、日本の代表的観光スポットだ。また街を挙げて外国人旅行者にとって使いやすい街づくりに取り組んでおり、さらに彼らをその地に惹きつけるとも言える。

「スタート地点の雷門の手前には観光案内所があるし、門のすぐ横は交番。わからないことや困ったことがあっても、すぐ相談できるという安心感は素晴らしいですね」

ネイザンの評価も高い。

雷門をはさんで交番の反対側には、その名も「ホテル雷門」。外国人の利用状況を尋ねると「まったく問題ありませんね。日本の方よりよほどしっかりしています」との答え。たしかに、宿泊に対する日本人旅行者の嗜好が変わるなか、あえて外国人をターゲットに生まれ変わった旅館やホテルの話は少なくない。

そこでのポイントは、設備や言葉などのハード面ではなく、むしろもてなしの心に代表されるソフト的な対応の方であるとはよく知られた話だ。「本堂脇には、浅草寺について

〇浅草にて

名所旧跡に見る交通案内 日本を代表する観光地の ホスピタリティー

仲見世

NAKAMISE



▲仲見世

店内の値札表示には英語表示がある店もあるが、少数派。だが、身振り手振りや電卓で買い物には困らないという。「あまり英語の看板ばかりでも雰囲気なくなってしまうですね」（ネイザン）

仲見世

Nakamise



ての英語と日本語の細かい説明がありますね。周辺地図にも英語で建物の名前が書かれています。合格点？ でも、ボクならもう一歩踏み込んだ情報が知りたいなあ」
不便なく歩ける環境の次は、さらに新たな要望がでてくるのは人間にとって当然。どこまでいってもハード的な対応だけでは追いつかない。それに応えるのは、浅草という街全体に息づいている、ソフト的な何かなのかもしれない。

交通の言語環境を考える

公共交通機関を中心に、いま、急速に進みつつある都市情報のマルチリンガル化。外国人旅行者一千万人時代を見据え、観光立国ニッポンの実現を目指す観光庁が掲げる方策とは？

「外国人が一人歩きできる環境整備」——これは日本の観光立国化に向けた、課題と戦略の重要なポイントのひとつです。

交通機関などの案内標識は、日本語と英語、さらに言葉がわからなくても理解することができるとピクトグラム（絵文字）の3種類を基本として情報を伝えることとしており、併せてピクトグラムと文字を並べる場合のレイアウト、色彩や位置についてもガイドラインを示しています。

もちろん、これは「それさえあれば十分」と言つことではありません。必要に応じて地域特性や外

国人旅行者へのホスピタリティーの観点から、中国語や韓国語など、英語以外の外国語でも情報提供を行うことが望ましいとしています。

最近では日英の2カ国語に加え、中国語や韓国語が併記されているものを多く見かけるようになってきました。しかし、場所によっては、誤訳や表示が動線の途中で途切れたりするものも時々見受けられます。外国人旅行者にとっては、たとえば空港から鉄道やバスなどへの乗り換えがスムーズにできることが大事だと考えます。

それには、ターミナルの運営事業者など関係する各事業者の方々

に共通認識を持っていただき、統一的な整備を進めていただくことが必要です。そのきっかけづくりとフォローアップも私たちの重要な仕事のひとつであると考えます。

外客旅行容易化法では、すべての公共交通事業者などに対して、観光庁長官が定める基準に従った外国語等での情報提供の促進措置を講ずるよう努めることと規定し、さらに、多数の外国人観光旅客が利用する区間などでは、観光庁長官が情報提供促進措置を講ずべき区間として指定すると規定しています。現在、約250の事業者を指定しており、これらの事業者

においては、鋭意整備を行っていたところですが、特に、主要な鉄道駅などでは、実際に外国人の方に案内標識などの点検をしていただく取り組みも行っています。

ただ、整備に際しては、さまざまな課題があることも事実で、これらすべてを一朝一夕に解決できるものではありません。

私たちは、これからも、関係事業者、関係他省庁などと連携し、外国人旅行者がひとりで目的地までたどりつけるような環境のすみやかな整備に向けて、尽力してまいります。（談）



観光庁は、その前身である国土交通省総合政策局時代から「2010年に訪日外国人旅行者数を1千万人」を目標に、各種キャンペーンに取り組んできた。

寺西 真吾氏

TERANISHI Shingo

観光庁

観光地域振興部 観光地域振興課 地域競争力強化支援室



東京タワー

Tokyo Tower

Goal!



▲「東京から京都、広島、鹿児島へと足を伸ばす予定です。まだ、日本へやってきて2日目。一所懸命東京を歩き回って、でも、ここまでそれほど困ったことにはあっていないわね。考えていたより、どこへ行くにも英語での案内が多いので、かえって驚いています。たまに、とんでもないところに出たりもするけれど、それも旅の楽しみだと思うわ」(英国人旅行者・マーガレット&ソフィ)

「日本へやってきて6カ月。勉強やアルバイトでとても忙しく、東京から出たことがないのですが、その範囲ではすいぶん自由に行動できるというのが実感です。中国人にとっては、やはり「漢字」の国だと言うのが何よりの助け。中国では略字が多いとはいえ、一目で9割方は理解できます。それに困ったら交番に飛び込めばいい。それが最大のポイントかもしれません」(中国人留学生・顧杰)



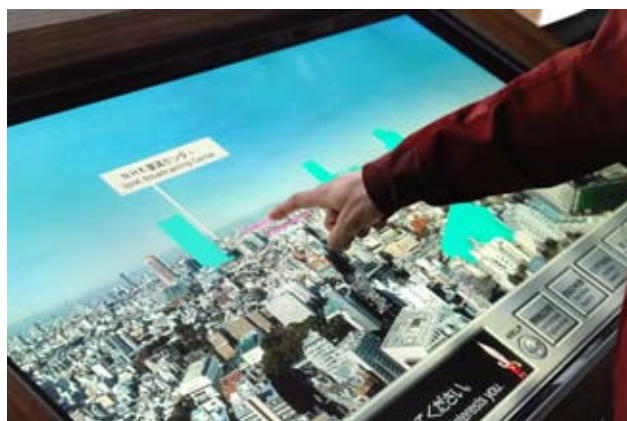
◀東京タワー大展望台2階

360度の眺望を持つ高さ150mの展望台。六本木ヒルズなどより低めからの眺望は、建築物の細部がよく見え、建築ウォッチングには最適だ。また、東西南北4カ所に設置された展望解説ボードは、その方向から見える建物の情報を表示したり景観の説明をするなど、検索機能を持ち、天候や時間に関係なく昼夜の映像を見ることができる。

観光地に見る案内 行き届いた パンフレットとガイド

○東京タワー

レインボーブリッジ



的確に必要な十分な情報を

「いつも自転車でも横を通るんですが、上ったことはありませんでした」とネイザン。

東京で暮らしていると、近いようで遠い存在かもしれない東京タワー。だが、間違いなく東京における定番観光スポットのひとつだ。地上150mの大展望台へ上るエレベーターの列に並ぶと、すかさず男性の場内ガイドが声をかけてくれた。

「You get on alone?」

これならば外国人旅行者だけで訪れても困ることはないだろう。実際、展望台にはタワーの歴史や構造の説明が、日英の2カ国語で用意されている。窓から見える建物、浅草や新宿といった東京の代表的な街がどの方角か、などといった案内も手慣れたものだ。すでに丸の内などで実験が始まったユビキタスミュージアムの情報提供も可能性が高いのではないだろうか。

特定の場所に貼り付けられたQRコードをカメラ付き携帯電話で読み取れば、その場所の情報やミニ知識が表示されるといふこのシステムのネットワークは、表示文字の少なさ(英語で600字程度)だが、東京タワーからの展望情報なら十分すぎるほどだろう。



観光ボランティアの夢

外国人旅行者1千万人達成に向けた「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を強力にバックアップするNPO組織。
日本を好きになってもうために、全員ボランティアのガイドたちが動きだした。

サイニング（案内情報）という点で言えば、東京は外国人旅行者にとって少しも使いやすいところではありません。

私たちは、個人の旅行者を対象にしたフリーガイドツアーを実施しています。1回2時間のツアーで出かけるのですが、実際その集合時間に間に合いそうもなく、電話をかけてくる人がなんと多いことか……もちろん、参加予約する段階でたとえば「浅草に泊まっているなら、地下鉄でJRまで出て乗り換え、どこぞの駅で降りれば集合場所まで1時間くらい。余裕をみて1時間半前には出発してくださいね」というようなやり取りはあるんですよ。それでも当口間に合わなくなったり、自分がどこにいるのかわからなくなると、私の携帯電話に緊急の連絡

を入れてくるわけです。

迷うのは、やはり乗り継ぎの際が多いようです。案内情報に従って移動しているはずなのに、気がつくともったく違う場所にいるようだ、ということですね。しかも、電話をかけてきてどこにいるのかを説明しようにも、わかりやすい目印がない。それ以前に、携帯電話を持っていない外国人旅行者にとっては、連絡のための公衆電話が、どんどん減ってしまっているのは辛いですね。

私たちは、東京観光財団が実施している「東京シティガイド検定」をきっかけに集まりました。検定をきっかけに知って自分たち自身が感じた東京の面白さや知識と言うものがあります。それ



れたら、もっと東京や日本を好きになってももらえるんじゃないかと考えたのです。もちろん、最初からうまくいくわけはありません。最初に集まってから5年になります。3年ほどは、何ができるのか、ツアーを喜んでもらうためにまず自分たちが楽しめることを見つけよう、など試行錯誤の連続。そこで積んだ経験をもとに、やっと2年前からボランティアガイドツアーを開始したんです。

「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に参加し、今年は8月までに38カ国400人の方々をご案内しました。プロとは違った、ボランティアである自分たちのいいところで勝負したい。だから、ガイド役とサポーターの2人体制で、少グループを案内し、普通の観光案内だけ



ボランティアガイドツアーの様子

ではない日本の生の生活を感じてもらえるようなツアーを心がけています。わずか2時間のあいだですが、ほんの少しでもいい、楽しくて喜べる経験をして日本を好きになって欲しい。それが私たちの望みなのです。（談）



深谷 洋氏

FUKAYA Hiroshi

NPO法人東京シティガイドクラブ

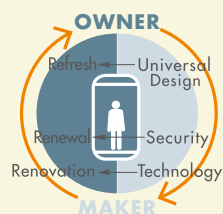
外国人の個人旅行者を対象としたボランティア東京観光ガイドグループの活動を進める。明治神宮～原宿、皇居などを代表に、現在、モデルコースは25～26種類。観光地ガイドだけでなく、歴史、グルメ、おもてなしなどの、日本文化に触れるテーマ別ツアーなども実施する。



「限られたスペースだからこそ、必要な情報をコンパクトにまとめる巧さ。ノウハウの蓄積もあるんでしょね」
上下2階に分かれた大展望台では、上りエレベーターが上階に到着し、下りは下階から出る。階段で結ばれたその間の移動動線も的確でわかりやすい。この辺りは、たしかに長年、多くの外国人旅行者を受け入れてきた実績が反映していると納得できるものだ。

リニユーアル

探検隊が行く！



ホテル大松荘

日本三景のひとつ、宮城県の松島海岸を臨むホテル大松荘は1970年の創業。その後の増改築時に導入した油圧式エレベーターはすでに30年が過ぎた。小野明文代表取締役は繰り返し発生する東北地方での地震に対する危機感から「買うことで得られる安心・安全は一日でも早く買うべきだ」と考え、準撤去リニユーアルを決断し、今年4月に工事が完了した。いまはあらゆる安全装置が完備され、お客さまにはより安心して泊まっていただけるようになった。



1 エレベーター・1階ホール
エントランスから見渡せる土産物スペースの奥にエレベーターは設置されている。

繰り返し起こる地震への危機感

日本三景のひとつとして知られる松島海岸は湾内に緑の島々が美しく点在する風光明媚な場所だ。

それゆえに景観を重視する規制も多く、屋上にエレベーター用の機械室を設置することは許されていない。70年に創業したホテル大松荘では、2回目の増改築を行った79年にエレベーターを導入したが、機械室を地下などに設置できる油圧式を採用した。だが、使用年数を重ねるうちに、いくつかの問題が生じてきた。

「長年使用しているエレベーターでもあり、動作音や振動が気になって寝つけなかったというお客さまからの指摘もありました。また、多少段差もあり、車い

僕たちが
いろんなリニユーアルを
紹介するよ！



リニユーアル探検隊

隊長

篠崎 正彦

東洋大学工学部建築学科
准教授。

1968年東京都生まれ。専門分野は、建築計画と環境行動研究。特に、都市での生活様式と住居、施設の関係を研究している。現在、ベトナムにおける集合住宅の調査研究を進めている。

隊員

山田 花子

篠崎先生の研究室でベトナム建築を学ぶ。趣味はピアノとフルート。



2 エレベーター・のりば リニューアルにあわせてバリアフリーに対応した。



すをご利用のお客さまやご高齢のお客さまに迷惑をかけることもありましたが、なんと言っても地震への不安が最も大きいものでした」と、ホテル大松荘の小野明文代表取締役は語る。

宮城県沖地震はこれまで25〜40年という短い周期で繰り返し発生しており、直近では78年にマグニチュード7.4の地震が起き、死者28名の被害をもたらしている。今後、同規模の地震が発生する確率は、地震調査研究推進本部の発表する「全国を概観した地震動予測地図2007年版」によると、30年以内では99%とされている。

「地震が起きるたびに、夜中であっても従業員全員でエレベーターの閉じ込めが起きていないか確認し、最後にドアを開けることを繰り返してきました。もはや10分の閉じ込めでも報道される時代であり、ことが起きると商売ができなくなる恐れもあります」

また、油圧式エレベーターは、その構造上、大量の作動油を必要とするため、作動油が漏れると土壌汚染の恐れもある。

安心・安全は一日でも早く買うべき

小野代表取締役は東芝エレベーターの提案もあつて、昨年末に油圧式エレベーターの準撤去リニューアルを決断。今年4月に最新型のマシナールームレスエレベーターを導入した。

シャフト内に制御盤も巻上機も収納するタイプなので、シャフト内に余裕が必要になるが、ホテル大松荘では従来通りの9人乗りがご室を入れることができた。「ホテル業としては買うことで得られる安心・安全は一日でも早く買うべきだと思っています」

リニューアル後のエレベーターには地震時や停電・火災時に最寄り階に自動着床する管制装置が付き、



小野 明文氏
ホテル大松荘
代表取締役

篠崎隊長の
ここがポイント!



エレベーターの運用に 重要なメンテナンス

油圧式エレベーターは、工場など大容量を運ぶ必要がある場所で利用されています。乗用エレベーターとして設置される場合は、屋上に機械室を設けることが難しい建物で主に利用されてきました。

ホテルという場所は、お客さまへサービスを安定して提供することが非常に重要になりますので、メンテナンス面にも細心の注意を払う必要があります。製造したメーカーがメンテナンスを担当していると、部品の調達など、トラブルが発生した際にも素早い対応を取ることができるようになります。また、地震時管制運転などハードウェアとソフトウェアの両方が必要な緊急対応では、やはり製造メーカーによるメンテナンスに一日の長があります。

エレベーターにさまざまな機能が搭載されるようになった現在、メンテナンスも、エレベーターの性能として考えられます。エレベーターのリニューアルを考える際には、エレベーターの性能を最大限に発揮するためにも、運用やメンテナンスを含めて検討する必要があると言えるでしょう。

そして、同時にのりば付近のリニューアルを合わせて行くと、リニューアルの効果をより引き出すことができます。

建築当初は階段が主要な動線となっていた建物の場合、エレベーターが入り口から目に付きづらい場所に設置されていることがあります。バリアフリーの考え方が広まり、エレベーターを主要な動線として考えるようになった現在、エレベーターの使われ方も建築当初とは変わってきている場合があります。エレベーターの扉にスポット照明を設置し、扉を照らすようにするだけでも、エレベーターへの注目度は大きく変わります。リニューアルの効果をより実感できるようになるのではないのでしょうか。(談)



ホテル大松荘

JR 松島海岸駅から徒歩2分、名所や遊覧船の発着所までも徒歩5分という絶好の地にある鉄筋5階建てのホテル大松荘は41室、196人を収容する。塩釜港に水揚げされた海の幸による磯料理が自慢だ。

■ 住所：宮城県宮城郡松島町松島字町内 25
■ TEL：022-354-3601

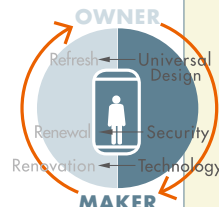
「これまでずっと神経を使っていたことから解放されて従業員一同喜んでいますよ」と小野代表取締役。リニューアル直後、家族も喜んでホテル大松荘のWebサイトに掲載するように提案したという。

また、リニューアルの資金調達の際、金融機関と相談したところ、「安心・安全のための投資なら大歓迎です」と即座に融資を了解してくれたという。金融機関も経営者の安全意識を評価する時代になった。常連客にも「乗り心地がよくなった」「前より広く感じる」「明るくなった」など好評のようだ。

やはり新しいエレベーターという目に見えるリニューアルは、お客さまにも「新しいエレベーターで安全・安心」というアピールにもつながるのではないだろうか。



メーカーの立場から…



東芝エレベータ株式会社

東北地方において初の油圧式エレベーター準撤去リニューアルとなったホテル大松荘のケースは、小野代表取締役の熱い思いが東芝エレベータにも強く伝わってきた。



花村 寧氏
東北支社
営業部
課長代理



佐藤 卓美氏
東北支社
建設グループ
主任

社長の思いと提案が一致

東芝エレベータ東北支社にとって、地震ほど心配なことはない。閉じ込めの復旧作業やトラブルへの対応もさることながら、お客さまの身の安全が心配でならないからだ。東北支社営業部の花村寧課長代理はこう語る。

「2003年の宮城県北部地震のときは大きな揺れが1日に3度も起きました。いったん復旧したエレベーターを再度復旧させることになり、徹夜で対応に当たったものです。死者は幸い出ませんでした。が、宮城県にとつて地震は避けて通れないのです」

そんな花村氏にとつて30年前の油圧式エレベーターをそのまま使っていることは不安に感じられるものであった。

「特にホテルや旅館は昼夜を問わずエレベーターが稼働しているので、リニューアルすれば安全面だけでなく、省エネルギー面でも大きなメリットがあります」

こうした理由から花村氏は昨年末にホテル大松荘を訪問。パンフレットと提案書を持参したところ、小野代表取締役から即座に「とにかく会いたい」と返事が来た。

「宿泊するお客さまに安心と安全を提供したいという小野代表取締役の思いと我々の提案が一致したのです」

花村氏によれば、油圧式エレベーターのリニューアルには安全対策以外にもいろいろ

るなメリットがあるという。

まず、第1に騒音や振動が少なくなる。第2に部品の調達が容易になるのでメンテナンスもスピーディーにできる。30年前の油圧式では部品の在庫も少なくなり、中にはすでに製造中止になっている部品もあるので、故障すると停止時間が長くなってしまうのだ。

第3に電気が節約できる。第4に大量の作動油の補充や交換が必要なくなると同時に土壌汚染などのリスクがなくなる。

これらのメリットを小野代表取締役に説明したところ、トントン拍子にリニューアルが決まったという。すぐに油圧式の全面撤去、最新型の導入という動きになったが、最大の問題は工事の作業時間だった。ホテルなので、夜間や繁忙期は工事ができない。工事を担当した建設グループの佐藤卓美主任はこう語る。

「宮城県を代表する観光地のホテルなので、お客さまがくつろぐところをじゃましたくない。そこで、毎日、日中の作業としました。工期的には厳しかったのですが、さまざまホテル大松荘さまのご協力で、2週間で完了しました。準撤去リニューアルとしては最短のスケジュールです」

社長の家族からも喜ばれた

工事の時期は予約状況などから判断して、

団体客やお年寄りのお客さまが多い繁忙期を避け、4月初旬とした。

ホテル大松荘の小野代表取締役は「当初1カ月ぐらいいは工期がかかると思っており、休む覚悟はあったが、2週間でやってくれるというのでとても助かりましたよ」と言う。もう一つの問題はシャフトのサイズだった。もし余裕がないと、制御盤や巻上機を入れるためにかご室を小さくしないといけない。だが幸い、シャフトには余裕がありがご室はそのままの大きさが使えた。

工事で一番気を遣うのが撤去と作動油の抜き取りだ。佐藤氏は「狭い場所もあったが、なんとかクリアできました」と語る。

導入後は、「お年寄りのお客さまやリピーターの方々から、明るくて音も静かになったなど好評だとうかがっています」と花村氏。小野代表取締役も喜んだが、一緒に経営している家族からも喜びの声が届いたという。

「ご家族の提案でWebサイトに『エレベーター工事完了しました。最新設備で安心安全になりました』と載せていただいたんです。社内で報告したらみんな一緒に喜んでくれました」と花村氏は言う。

リニューアルを機に、それまで他社に依頼していたメンテナンスも東芝エレベータに任せられた。

「総合的に評価してくださったのがうれしです」と花村氏は満足げだった。

インフルエンザ、その予防と対策

間もなく訪れる冬、もうすぐ町中ではあちこちでゴホン、ゴホンとせきが響く季節がやってくる。
 カゼもいやだが、もっと恐ろしいのはインフルエンザ。高熱を伴い、合併症を引き起こし、
 最悪の場合は死に至ることもある。
 インフルエンザについてよく知り、いまから対策を練っておこう。

人類が有史以前から
 つき合ってきた病

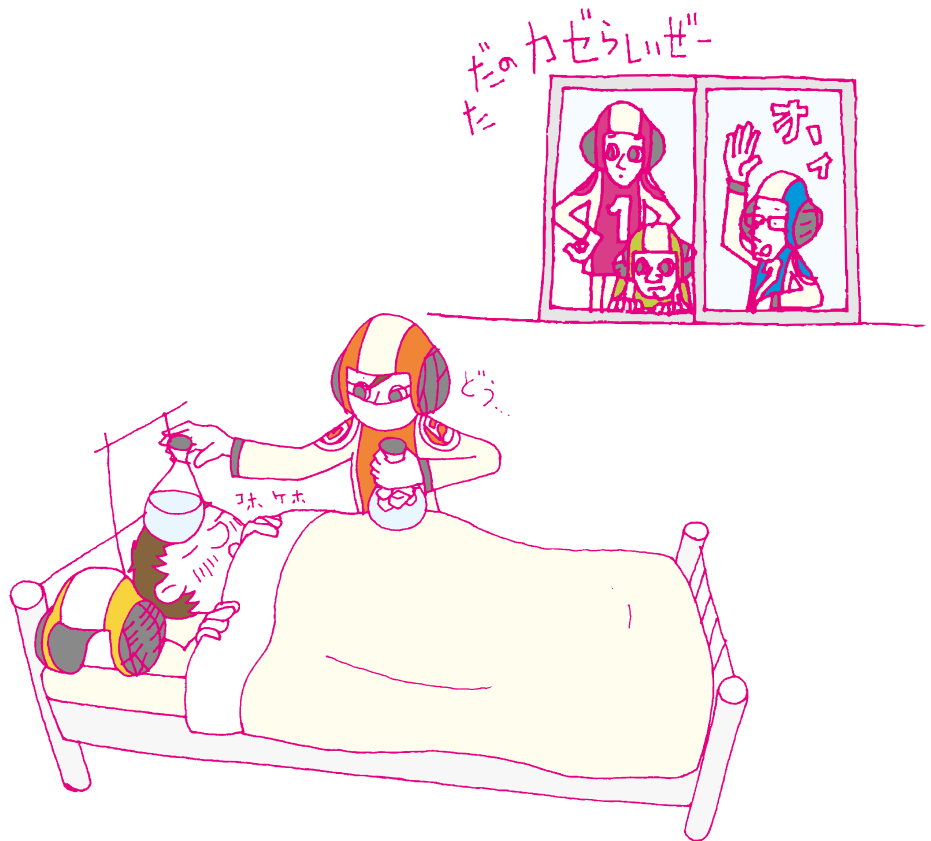
冬になると流行するインフルエンザとはどんな病気なのだろうか。国立感染症研究所主任研究官の安井良則氏に伺った。
 「インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる感染症の総称です。もともとは水鳥のウイルスでしたが、その一部が人

に感染するようになったものです。その特徴は、突然の発熱と全身の倦怠感、筋肉痛で始まることが多く、高熱を発生し、非常に体力を消耗します。従って高齢者の場合は細菌性肺炎を併発することもしばしばあり、死亡する場合もある、あなどれない危険な病気です」
 その歴史は古く、おそらく有史以前のはるか昔から人類はインフルエンザとつき合っ

てきた。しかし、この病気の原因が、インフルエンザウイルスにあることが発見されたのは1892年、まだ百年ほどしか経っていない。
 人に感染するインフルエンザウイルスには、A、B、Cの3つの型がある。このうち、問題となるのはA型とB型で、A型はさらにA香港型（「H3N2重型ウイルス」とAソ連型（「H1N1重型ウイルス」）に分かれ、毎年流行する型も異なる。
 「同じ感染症でも、はしやや水ぼうそうの場合は一度かかると抗体ができますが、インフルエンザウイルスの場合、Aソ連型ならAソ連型、A香港型ならA香港型で抗原性がマイナーチェンジします。それでインフルエンザは、1回かかった人でもまたかかることもある」と安井氏は言う。

感染経路と その対処方法

インフルエンザは、主に飛沫感染、つまりインフルエンザにかかった人のくしゃみやせきなどによって吐き出される水滴を浴びることによって感染する。飛沫が飛ぶ範囲は半径1〜2mで感染者から離れていればうつらないが、職員電車やエレベーター内、職



エレベーターの 衛生対策

インフルエンザの感染経路はほとんどが飛沫感染によるものだが、病院のように体調の優れない人々が多く利用する場所では、インフルエンザに限らず患者と接触する機会も多い。

エレベーターの定期点検時にも、脱脂綿や注射針などが、ランニングクリアランス（エレベーターのかごとききの間のすきま）から昇降路やピットに落ちることがあるため、直接手で触れないように注意して、専門家に処方を依頼するなど二次感染に気をつける必要がある。

また、車いすやストレッチャー、点滴スタンドなど、車輪で移動するシーンが日常的に見られ、バリアフリーが前提の病院では、エレベーターは大活躍の移動手段だ。

そのような病院向けのエレベーターの仕様として、抗菌性を持たせたボタンやご室パネル、手すりがある。
 これらの機能については、エレベーターのリニューアル時にもおすすめの商品だ。

知っておきたい インフルエンザ対策

かからないためには、本文で述べたように事前のワクチン接種が最も効果的だが、それ以外の対策にはどんなものがあるのか、またかかったときはどんな点に注意すればよいのだろうか。

インフルエンザにかからない対策としてはマスクの着用、手洗い、うがいがある。これも絶対からないというわけではないが、インフルエンザ以外に力ぜにも効果があるので、励行してほしい。インフルエンザは飛沫感染によるので、マスク

はそれを防ぐ役割をする。もっとも効果があるのは感染者本人にマスクをしてもらうことだ。手洗いは、接触感染を防ぐ役割をする。特に、家人に患者がいる場合は、そばに近づいたあとには必ず手を洗うこと。もちろんタオルの共用は厳禁、

できればペーパータオルなど使い捨てできるタオルの使用が望ましい。うがいはのどについたウイルスを洗い流す働きをする。ただインフルエンザウイルスは数十分で感染が成立してしまうので難しいところだが、どのウイルスを洗うこと

で減らす効果は望めるので、重症化を防ぐことはできる可能性がある。かかってしまったときは、以前に別の病気にかかったときにもあった解熱剤があったとしても決して飲んではいけない。必ずお医者さんに薬を出してもらったインフルエ

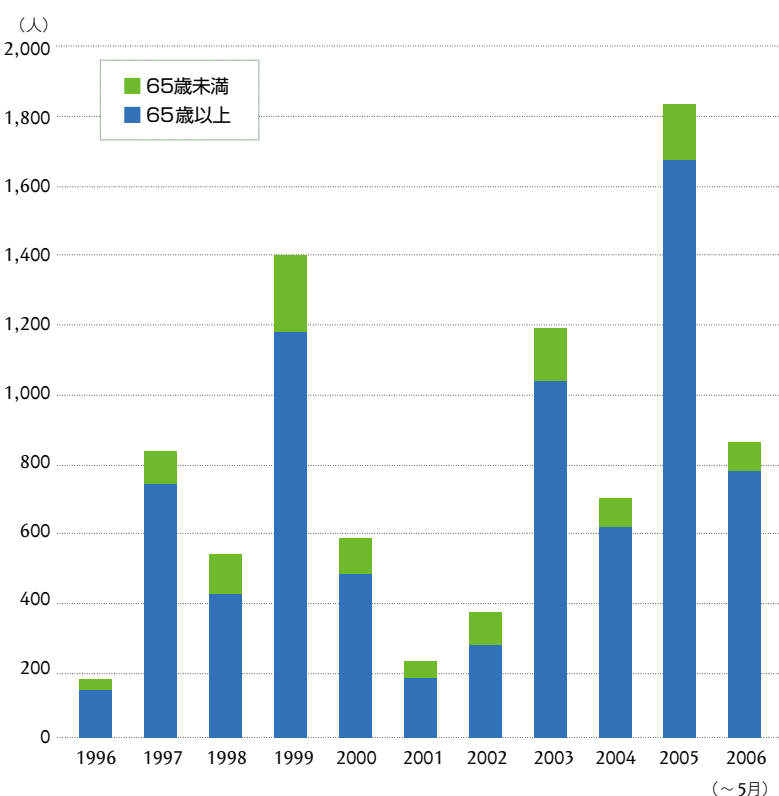
ンザ用の薬を飲むこと。アスピリンなどインフルエンザのときに飲むと重い合併症を引き起こす薬もあるので要注意だ。また、熱による脱水症状が起これるので、水分補給を行うことも大切である。

場や学校などではなかなか難しい。また飛沫感染以外に、率は少ないが接触感染もある。患者の身体やその周囲にはウイルスが多量に付着している。それを触った手で口や鼻、目に触れることで、そこからウイルスが体内に入って感染する。空気感染もないとはいえないが、医療処置などの特殊な条件下で起こると言われている。感染経路は、子どもからというケースが多い。なかでも5歳から9歳、つまり幼稚園、保育園、小学校低学年あたりの子どもが最も多いとされるが、これはおそらく幼稚園や保育園、学校における集団感染がその原因と考えられる。最初にインフルエンザにかかった子どもが学校などの集団

生活のなかで飛沫感染によって他の子どもへとうつし、その子どもがインフルエンザウイルスを家庭に持ち込み、そして家庭から会社や地域社会へと拡大していくことになる。一度流行が始まると2〜3週間でピークに達する。こうして毎年、1千万人以上の患者を出すことになるのだ。インフルエンザの予防で最も効果があるのは、流行の前にワクチンを接種することだ。接種を受ければ絶対からないわけではないが、接種していない場合に比べて大幅に感染を減らすことができる。ワクチンは接種してから3週間から4週間して効果がある。また、接種後の効果は5カ月くらい持続する。

通常、インフルエンザは12月下旬から1月に流行が始まるので、11月の終わりに12月にかけて接種するのがよい。また、子どもの場合は2回接種なので、11月初めに1回、11月の終わるか12月初めに2回目を接種するといいたい。そして残念ながら、もしかかかってしまったら？ 「急激に発熱してインフルエンザが疑われる場合はできるだけ早く診察および治療を受けてください」と安井氏は述べる。「その後は、休んで寝ているのが一番です。よく苦しなくても無理をして出かける人がいますが、交通機関のなかで人にうつす、会社や学校で周りの人にうつす。決断していいことはありません」

図 インフルエンザによる死者数(提供: 厚生労働省「人口動態統計」)





図：東京都目黒区・大橋地区市街地再開発事業計画建物イメージ図（提供：東京都都市整備局）

地下を目指す 東京の交通機関

2008年6月東京に開通した、渋谷〜和光市駅を35分（急行なら25分）で結ぶ東京メトロ副都心線。もうお乗りになった方も多いだろう。特に池袋〜渋谷駅間は、上がったたり下がったりとかなり起伏が激しい。東京の地下には多くの地下鉄などが走っているため、副都心線は東西線や都営新宿線などの間を上へ下へと縫うようにしながら進んでいくからだ。

しかし、地上はすでに飽和状態に近く、都市交通インフラの地下化がまだまだ可能性を秘めているのは間違いない。小泉首相時代に日本橋の上を走っている首都高速道路を取り払って、地下に移動してはどうかという話が持ち上がった話題となったが、これも技術的には決して夢ではない。地下を走る首都高速道路という点では、2007年暮れにその半分が開通した山手トンネル（中央環状新宿線）がある。5号池袋線と4号新宿線を結んで渋滞緩和に役立っているが、2009年には、3号渋谷線にまで伸びることになる。渋谷の出口となる大橋ジャンクションは、地下から高架線の3号渋谷線を結ぶため、らせん状に地上に出る仕組みになる予定で、ここには、ショッピングモールも計画されている。さらに、2013年には中央環状品川線とつながって湾岸線へと結ぶ計画も進行中だ。もちろん、これもすべて地下トンネルとなる。

交通機関の地下化は渋滞緩和だけでなく、環境面からも注目されている。ジオフロント（地下都市）とまではいかないが、いずれ東京の主要交通機関のほとんどが地下に移設される日が来るかもしれない。（談）

交通 快楽

新しい地下鉄が開業し、話題になることが多い東京の地下。
交通機関を地下に収容することにはどのようなメリットがあるのだろうか。

法政大学 教授 黒川 和美

